

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11088	1	後期	必修	1	45
授業科目名 (英文)	基礎看護援助実習 I (生活援助実習) (Clinical Practice in Fundamentals of Nursing I)				
担当教員名	○島田多佳子/横山美樹/伊東美奈子/ 末永由理/中山純果/嶋澤奈津子				
授業の概要及び到達目標					
<p>既習のフィジカルアセスメントおよび日常生活の援助を、看護職の立場から体験・実施することをおして、看護学概論等で学んだ看護の役割機能を現象のレベルで認識し理解を深めるとともに、これに照らして対象に行われる援助技術の目的と適応および方法を確認・思考し、生涯にわたる発展の基盤となる看護援助技術の学び方と、対象への援助に必要な基礎的な知識・技術を身に付ける。</p> <p><b>【実習目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の役割機能を実際の看護実践と結び付けて説明できる</li> <li>2. 対象に行われる援助技術の目的と適応および方法を、既習の学習で得た知識・文献を用いて説明できる</li> <li>3. 体験を通して看護援助技術の学び方を理解し、自分の言葉で説明できる</li> <li>4. 対象への援助に必要な基礎的な知識・技術を身に付けることができる</li> <li>5. 看護専門職を目指すものとしての自覚を持ち、倫理的かつ責任のある行動をとることができる</li> </ol>					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学実習要項、基礎看護援助実習 I 実習要項をよく読んで実習に臨むこと。</li> <li>・基礎看護援助方法 I・II で学習した内容（特に清潔、バイタルサイン、フィジカルアセスメントの単元で配布した資料）を復習して実習に臨むこと。（予・復 1時間×5日）</li> </ul>					
成績評価の方法	学習内容別評価基準に基づく評価 90%、最終レポート 10%とし、総合的に評価する。				
テキスト	指定しない				
参考図書	なし				
備考	<p>科目の詳細は実習要項を参照してください。</p> <p>オフィスアワーは、履修案内の看護学科「オフィスアワー」の項をご参照ください。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</p> <p>実習内容の到達状況と課題の確認は、実習記録等を用いてその都度フィードバックします。</p> <p>*予防接種については保健室から指導されたスケジュールに沿って計画的に接種すること。接種状況によっては実習を行えない可能性があります。</p>				

## 授 業 計 画

## ○実習日数および実習内容

実習日数は合計で5日間である。

## 【臨地での実習内容】

- ・看護師に同行し、対象に応じた看護実践（バイタルサイン測定、清潔ケア、等）に参加する。
- ・看護実践を振り返ることで自己の課題を明確にし、次の実践に向けて課題達成の計画を立案する。
- ・各日とも、その日の振り返りおよび指定のテーマでカンファレンスを実施し、学びを共有する。

## 【学内での実習内容】

- ・全体オリエンテーション、実習施設別オリエンテーションを受ける。
- ・臨地実習前に、看護技術（バイタルサイン測定、清潔ケア）の演習を行い、バイタルサイン測定の実技試験を受ける。
- ・自ら見出した課題の達成に向け、バイタルサイン測定、清潔ケア、等に関する演習を行う。
- ・実習のまとめは、個別面接、自己評価、記録の整理、レポート作成、ポートフォリオ作成を行う。

## ○担当教員

全担当教員

## ○実習施設

NTT 東日本関東病院、東京逡信病院、東京高輪病院